

第3学年 松竹梅組 算数科「新しい計算を考えよう～わり算」略案

指導者 伊藤雅代 千葉誠二 齋藤由紀子

1. 日時 6月12日(月) 3校時(10:30~11:15) 4校時(11:20~12:05) 6月13日(火) 5校時(13:35~14:20)
2. ねらい ○ ある数がもとにする大きさの何倍かを求める場合にもわり算が用いられることを理解する。
3. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
10:30	1. 問題を読み、倍という言葉について確かめる。	○ 倍という言葉を意識することができるような声かけをする。	◇ 図や写真等を使って説明する。	視聴覚資料
10:35	2. 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">○何倍かをもとめるには、どんな計算をすればいいか考えよう。</div>	○ 課題を板書する。		
10:38	3. 自力解決をする。	○ 座席表を使って、子どもの考えをとらえる。		
10:48	4. 発表し合い、検討する。	○ 既習事項を生かした考え方や新しいことに気づいた考えなどを取り上げていく。		
11:00	5. 何倍かを求めるには、わり算を使うことをまとめる。	○ 発表し合った考えをもとにわり算を使うことのよさに気づくような発問をする。	◇ 図や写真や映像等を使って説明する。	視聴覚資料 映像資料
11:06	6. 適用問題に取り組む。	☆ある数がもとにする大きさの何倍かを求める場合にもわり算が使えることを理解することができたか。	◇ 適用問題を出す。	
11:10	7. ふり返りをする ・ノートに書いて、発表する。			

